

### 1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり		30年度事業・施策評価結果		責任者	港営部 管財課長
施策名	港の安全性・信頼性・危機管理の向上		成果	コスト		
事務事業名	名港潮見インターチェンジ補修事業				連絡先	052-654-7876
目的	対象(誰・何を)	名港潮見インターチェンジ補修			事業期間	平成25年度～令和元年度
	意図(どういふ状態にしたいか)	施設を健全な状態にします。				
概要	名港潮見インターチェンジの本組合所有部分について、中日本高速道路株による点検の結果、補修の必要性を指摘されたため、上部工及び下部工の躯体等の補修工事を行うものです。				根拠法令等	
令和元年度の実施予定	箇所: A4・A5・B1・C1・D3・D4・E2・E3橋梁 内容: 上部工(ひび割れ工、断面修復工、剥離防止工等)及び下部工(断面修復工、排水装置工等)を実施します。				実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
					関連シート	

### 2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	上部工及び下部工の補修を実施しました。 また、中日本高速道路株による点検の結果、舗装(基層)の補修が必要となり、補修を行いました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	合計	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	82,000	376,600	176,721	211,774	
人件費	千円	-	-	917	917	
合計	千円	82,000	376,600	177,638	212,691	

### 3 CHECK(検証)

指標名	29年度	30年度	元年度	最終目標	1	指標の説明・目標値の考え方	外部要因	
補修完了までの進捗状況(全3工程) (進行管理型)	目標			3	3	以下の項目のうち完了した工程数を合計します。 【①調査 ②設計 ③上部工及び下部工整備】		
	実績	2	2	3				
	事業進捗状況(元年度)			順調・やや遅れ・遅れ				
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	目標					補修工事が完了し、施設が健全な状態になりました。		
	実績							
	事業進捗状況(元年度)							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	港湾の安全性の観点からニーズがあり、必要な事業となります。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○	補修を行うことは、上位施策である「港の安全性・信頼性の向上」に有効となります。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○	点検の結果に応じ工事を追加しましたが、必要最低限のコストにて取り組みました。					

### 4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
完了			上部工及び下部工の補修をし、工事が完了したため。
課題			2年度以降の取組